

# 固定資産台帳(H29.3.31現在)の概要

固定資産台帳は、事業を行うための資産、及び道路・河川などのインフラ施設等の固定資産について、その取得と除却処分までの情報を把握・管理するとともに、全国統一的な基準に基づく財務書類の前提となっているものであり、本県においては平成29年3月31日現在で初めて台帳の整理・作成をいたしました。

本県の有形固定資産の合計では、取得価額が2兆6,906億円、減価償却累計額が1兆64億円、差引きの現在簿価額が1兆6,842億円となっております。

また、現在簿価額のうち、事業用資産が4,569億円、インフラ資産が1兆2,156億円、物品が117億円となっております。

なお、有形固定資産(土地、立木竹、建設仮勘定等の非償却資産を除く)の取得価額に対する減価償却累計額の割合を「有形固定資産減価償却率」といい、耐用年数に対してどの程度経過しているのかを把握することができますが、本県においては41.7%となっております。

(単位:百万円)

	取得価額	減価償却累計額	現在簿価
<b>事業用資産</b>	<b>640,836</b>	<b>183,971</b>	<b>456,864</b>
土地	155,099	0	155,099
立木竹	135,870	0	135,870
建物	329,956	173,283	156,673
工作物	18,162	10,688	7,474
船舶	0	0	0
浮標等	0	0	0
航空機	0	0	0
その他	0	0	0
建設仮勘定	1,749	0	1,749
<b>インフラ資産</b>	<b>2,034,941</b>	<b>819,352</b>	<b>1,215,589</b>
土地	110,875	0	110,875
建物	24,814	12,911	11,903
工作物	1,888,271	806,441	1,081,830
その他	0	0	0
建設仮勘定	10,981	0	10,981
<b>物品</b>	<b>14,827</b>	<b>3,083</b>	<b>11,744</b>
<b>有形固定資産合計</b>	<b>2,690,604</b>	<b>1,006,406</b>	<b>1,684,198</b>

表示単位未満四捨五入の関係で積上げと合計が一致しない場合がある。

$$\text{有形固定資産減価償却率} = \frac{\text{減価償却累計額}(1,006,406\text{百万円})}{\text{土地・立木竹・建設仮勘定を除く取得価額}(2,411,900\text{百万円})}$$